

岩手ではどんな取り組みをしているの？

水素の利活用について学び、実践する場が増えてきています

岩手県では「いわて県民計画(2019~2028)」長期ビジョンに「水素利活用推進プロジェクト」を掲げ、長期的な視点に立った取り組みを行っています。研究会やセミナーの開催など「知る機会」を提供し、少しずつ水素利活用の輪が広がっています。

水素とつくる未来

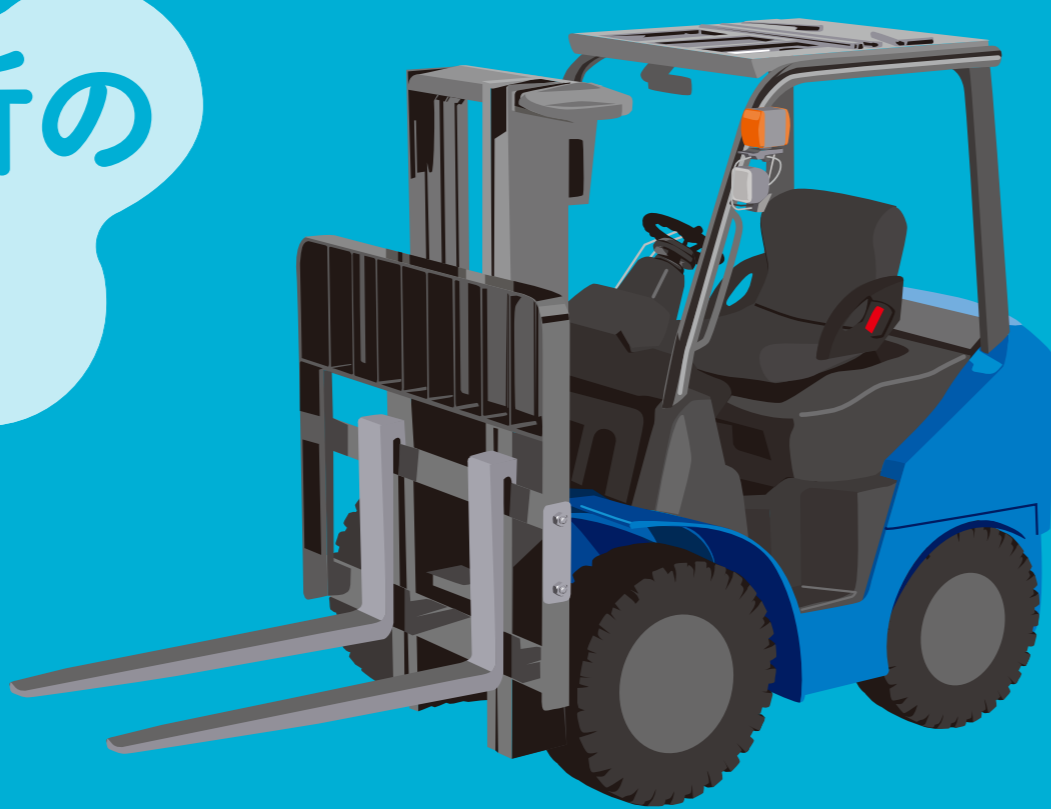
① 研究会の活動やセミナーの開催

「岩手県水素ステーション等研究会」の活動、事業者等県民を対象としたセミナーを開催するなど、岩手県民に水素の利活用について考えてもらう機会を設けています。



③ 県内事業所の取組

住田町の「けせんプレカット事業協働組合」では、太陽光で発電した電気から水素を作り、燃料電池フォークリフト(FCフォークリフト)の燃料として活用しています。



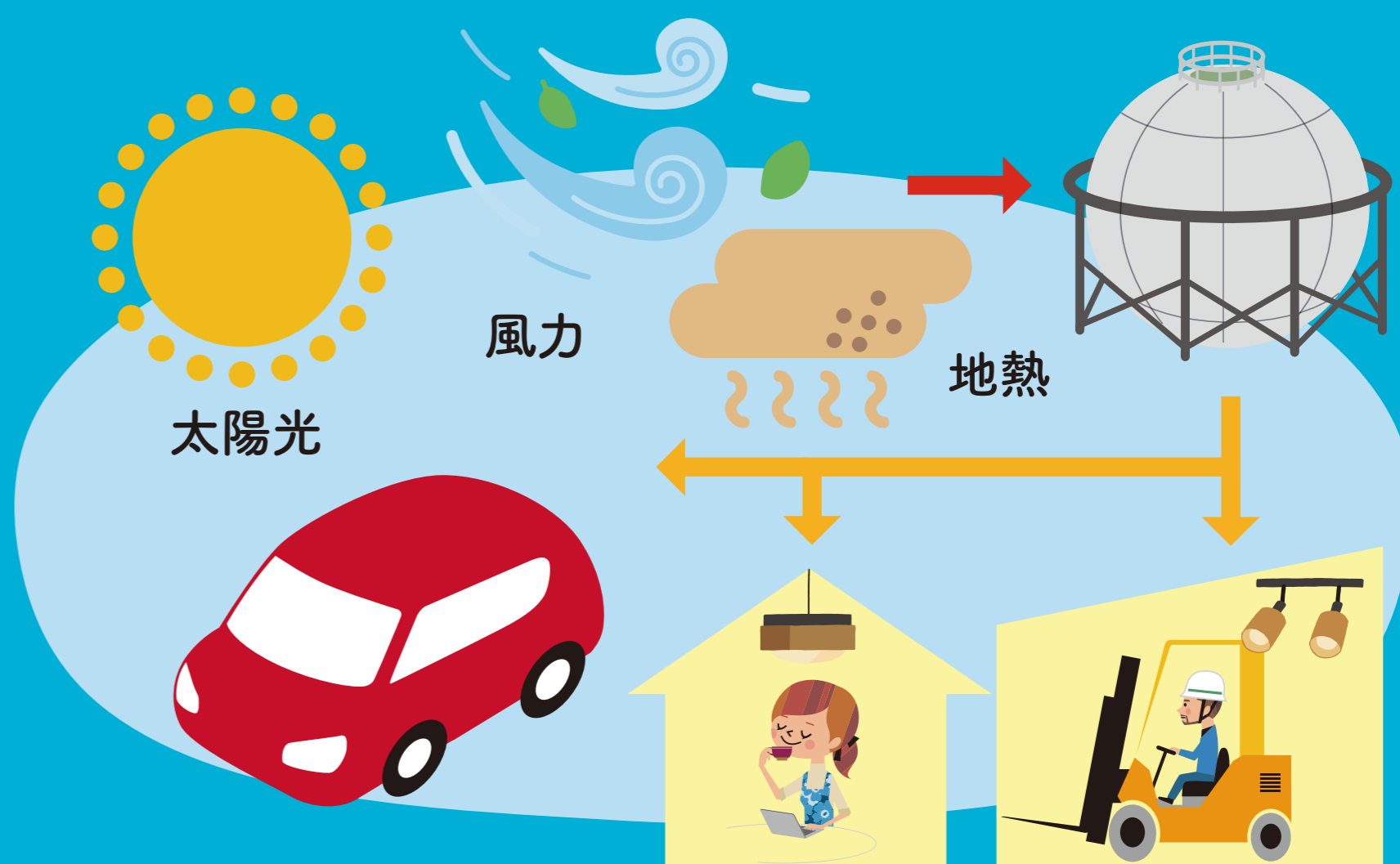
太陽光で
つくれる

排気ガスが
出ない

作業環境が
向上

② いわて県民計画「水素利活用推進プロジェクト」

岩手県の豊富な再生可能エネルギー資源を最大限に生かし、再生可能エネルギー由来の水素を利活用する取組を通じて、低炭素で持続可能な社会を目指すため、「水素利活用推進プロジェクト」を掲げ長期的な視点での取組を行っています。2019年3月には、このプロジェクトを具現化するため、「岩手県水素利活用構想」を策定し、さらに取り組んでいくこととしています。



④ これからの動き

再エネ由来の水素を製造・貯蔵

時間帯や気象条件で変動する再生可能エネルギー。余剰電力から水素を製造して貯蔵したり、出力不足の場合は貯めておいた水素で発電すると、安定したエネルギー供給が可能となります。

FCV

水素と空気中の酸素を反応させることにより発電した電気で走る自動車。走行中に排出するのは水のみという「究極のエコカー」。FCVが普及することで、車から排出される温室効果ガスや大気汚染物質を大幅に削減できます。

水素ステーション

ガソリンスタンドと同様に安全に利用できる「水素ステーション」。岩手県内にはまだ整備されていませんが、今後整備が期待されています。

「CO₂フリー」を目指して！

岩手県が取り組む施策の方向性

「岩手県水素利活用構想」

①

地域資源の好循環に向けた再生可能エネルギー由来の水素の利活用推進

日常生活や産業活動において利活用する実証事業の導入／事業者と連携した導入促進

②

水素関連製品等の普及促進

水素ステーション、FCV、FCフォークリフト等／エネファーム、産業用燃料電池等

③

水素関連ビジネスの創出・育成

事業者の参入支援／産学官連携による研究開発の促進、ビジネスシーズの検討など

④

水素の理解促進・地域連携

広報媒体を活用した普及啓発や、環境学習、セミナー等による理解促進／県内市町村、東北各県との情報共有、連携

今すぐできる！エコアクション「家庭のエコチェック」に参加しよう！

WEB上で家庭の省エネ行動をチェックすることで、どのくらいCO₂削減に貢献できたかがわかります。参加者全員の合計削減量で、どんどんわんこが積み上がります。参加できる人／岩手県に住んでいる人なら誰でも！(岩手県民以外の方はご遠慮ください)



わんこをたくさん重ねるほど、CO₂をたくさん減らせたことになるよ！楽しく「省エネ」にチャレンジしよう！



<https://www.co2-diet.com/>

いわてわんこ節電所

